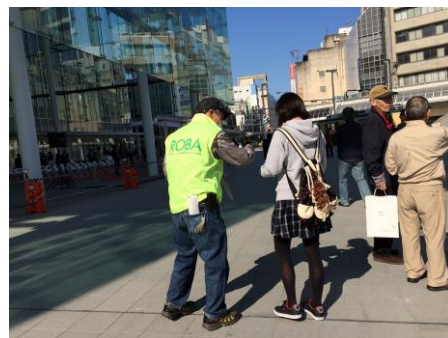




新バスターミナル・相互乗り入れスタート！

20160327



●撮影／清水・畑

【関連記事】2P～8P

☆☆活動報告☆☆

- 3月16日 ROBA 3月定例会・理事会
- 27日 福井駅西口交通広場開業式典
福鉄・えち鉄相互乗り入れ開業式典
- 4月20日 ROBA 4月定例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

- 4月28日(木) ハピリン・ハピテラス開業
- 5月14日(土)～15日(日)
全国バスマップサミット(松山市)
- 18日(水) ROBA 5月定例会・理事会
- 21日(土)～22日(日)
第15回中部地区路面電車サミット

Wacky's 一押し CD その6

「ブリージン」ジョージ・ベンソン

今回も歌と楽器の両方の達人をご紹介します。でも、弾き語りというより、スーパージャズギタリストで歌も抜群にうまいと言った方がいいかもしれません。その人の名は、「ジョージ・ベンソン」です。歌の伴奏というより、ギターソロが凄いです。特に、スカットで歌いながら、ギターでハモるといふ離れ業ができる彼のような人はそういないでしょう。今回ご紹介するアルバムは、ジャズとポップスの境界を軽く跨いで、文字通りのクロスオーバーあるいはフュージョンという新境地を開いた大ヒット作、「ブリージン」です。

何を隠そう、ベンソンは筆者のアイドルで、一番よく聴くアーティストです。このアルバムのお勧めは、歌の素晴らしさで、カーペンターズでもヒットしたレオン・ラッセル作「マスカレード」です。さらりとしたカーペンターズ・バージョンとベンソンのメロウなとろみをぜひ聴き比べてください。また、ラテン風味いっぱいのホセ・フェリシアーノ作「アフアーメーション」で、彼の素晴らしく懐の深いギターソロを味わってください。ベンソンのように当たり前前に簡単そうにギターを弾いてみたい！

福井駅西口バスターミナルの開業、えち鉄・福鉄の相互乗り入れ

内田 佳次

■平成 28 年 3 月 27 日福井駅西口バスターミナルの開業、えち鉄・福鉄の相互乗り入れがスタートいたしました。それぞれ西口のハピテラス、田原町駅で開業式典がとり行われました。両式典にROBAにも招待状が届いていまして、内田が代表して参列いたしました。それぞれの式典には中部運輸局、県、市、県・市両議会議員 など約 80 名の関係者が出席して行われました。

西口では午前 10:00 に福井市消防局の吹奏隊によるファンファーレとともに始まりました。ROBA スタートの時から唱えていた拠点への結節がようやく完成したかと思うと万感の思いを抱きました。田原町駅ではやはり約 80 名の関係者が出席し、こちらは北陸高校吹奏部の演奏で盛り上がりました。双方の式典にROBAが招待されたことは、これまで公共交通の活性化とまちづくりに市民団体、NPO法人として真剣にかかわってきたことを認めていただき、そして私たちの活動が少なからず貢献できたという証左であると思います。これまで活動に参画いただいた会員並びに関係者に心からの御礼を申し上げます。

なお、開業の 3 月 28 日は乗客も多く、運行の不慣れも手伝い信号処理の不備なども加わり 15 分程度の遅れが生じたようです。定時運行の鉄道路線と軌道線との結節の問題がさっそく浮き彫りにになりました。これからも問題の除去に努めて市民に愛される公共交通にしていかなければなりません。また、この相互乗り入れはスタートしたばかりで不完全です。全線で相互乗り入れが早い時期に実施できるようにさらなる進化を目指して行きましょう。

■ この開業の日に合わせてROBAは不慣れな利用者への案内、また一般の市民に啓発するために、京福バスさんとともに西口バスターミナルや駅前通りのりばで案内活動をいたしました。参加されました畑さん、鳥居さん、岸本さん、林照さん、林博さん、玉井さん、田山さん大変お疲れさまでした。

そこで感じたことは、3 回に亘る折込広告による案内を結構見ている、配布していたのりのりミニマップに対して多くの方が手を差し出して求めて来るほど関心が高いと云うことです。また、時刻表を求める方も多く臨時のウエルカムセンターに設置した京福バス案内所では時刻表やキップをを求める人で溢れていました。これからも案内役は必要だと感じました。そして早期に予定しているポケット版の時刻表の完成が待たれるところです。

福井駅西口広場開業を迎えて

今から 11 年前に転勤で福井に来た時、JR 福井駅は高架化の工事中、駅前広場には路線バスの姿がなく、「何じゃこれは」というのが正直な感想でした。

その後駅東口には AOSSA、高速バスターミナル、バスケットセンターが開業して体裁が整ったものの、西口にはアテナント館が暫定開業するだけで工事が遅々として進まず、先月末にようやく路面電車とバスが駅前広場に乗り入れを開始しました。県都の玄関口が本来あるべき「普通の姿」になったことによって、今まで電車やバスを利用していなかった方にも使っていただけるようになるか、これから本当の真価が問われることになると思います。開業初日に現場を見て気になった点をまとめてみました。

良くなった点

京福バス、すまいるバス、福鉄バス、福鉄電車が西口のターミナルに集結。

福井駅西口付近のバスルート改善で、迂回のロスが低減。

バスの行き先表示の改善。電光掲示で主要目的地や観光地(エルパ、丸岡城等)を明示。

福井駅からの近距離(800m以内)運賃を 100 円に値下げ。当日 15:08 発の丸岡線で帰宅したが、駅前大通りバス停の案内、裁判所前まで 100 円に値下げした案内を車内でアナウンスしていた。

今後改善が必要な点

福鉄の福井駅電停で、田原町行きと越前武生行きの発車時刻が同じ面に表示されていない。わざわざホームの反対側に行って確認する必要がある。また、普通田原町行きが市役所前で急行に接続する旨の案内がない。せっかく急行を増発したのに PR 不足で、これでは利用が定着しない。

駐車場不足が予想されるイベント時に、バスの利用を促すアピールが足りない。

週末花見のため、丸岡城と竹田たけくらべ広場にバスを利用して出かけたが、丸岡城行きは座席が半分程度埋まっていたものの、竹田線でたけくらべ前で下車したのは私と家内の2人だけでした。竹田線は1日5往復しかありませんが、花見シーズンの繁忙期だけでも増発できないか検討の余地があると思います。坂井市地域バス扱いのため運賃は 200 円均一で利用できます。

(鳥居:記)



一筆啓上茶屋前に新設された丸岡城バス停
桜まつり期間中は使われず道路上の臨時バス停を利用する



丸岡バスターミナルから発車する竹田線
山間部の狭い道を行くため小型車両を使用

福井駅西口広場の開業式典が行われました

報告 はたみゆき

平成 28 年 3 月 27 日（日）待ちに待った福井駅西口広場の供用が開始されました。当日は出来たばかりの「のりのりマップ」を持込んで、ROBAメンバーは利用客へのバス・電車に関する総合案内を行いました。

【西口広場開業式典】

式典は 10 時から始まり、ROBA から内田会長が出席されました。大勢の関係者が着席されましたが、ハピリンを背に広場側が正面になるため、広場から式典の様子を見ることが出来ました。



▲式典の様子



▲村田社長の挨拶



▲福井市消防音楽隊のみなさん



▲テープカット



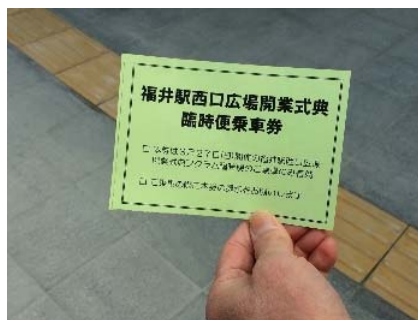
▲記念品が並ぶ



▲記念品の中（列席者と市民で中身が異なる）

【フクラム臨時便出発】

式典の後には関係者のみ乗車できる「フクラム臨時便」が運行され、大勢の観客が見守る中、臨時便が遠くに消えて行きました（写真に収められませんでした。川上先生や川本先生を発見！）



▲臨時便の乗車券



▲試乗前のフクラムと内田さん



▲発車の合図（村田社長と天谷社長）

【ROBAの交通案内】

当日は「のりば」に関する混乱がみられました。普段から利用されている方は、あらかじめ見聞きしてイメージできていたようですが不安が残っており、開業式に併せて何十年ぶりに利用した方は、昔の駅前と風景が違っていたので全く分からないという状況の中、ビラ配りと交通案内を行いました。下記に利用された方のご意見を紹介します。

【バス案内で承った利用者の声】

- ・バス乗り場が円形のため「のりば番号」が、柱の陰で見えない
- ・福井駅発のバスは勝木前のバス停に停車するのか
- ・複数路線が通るバス停を利用しているので路線全部の時刻表がほしい（地域時刻表）
- ・福井駅発の時刻表がほしい（地域時刻表）
- ・「本町角」に停車する100円区間の路線はどれか
- ・日中でも日差しがなく風が吹くので寒い
- ・ベンチに座って待てば発車時間にガラス戸が自動的に開くのか
- ・競輪場行きの無料バスはどこから乗車するのか
- ・高速バスやフレンドリーバスの「のりば」変更はあったのか
- ・すまいるバスはどこから乗車するのか
- ・レンタカーはどこにあるのか
- ・今までは放送会館で降りて勝木前で乗り継いでいたので慣れが必要だ
- ・福井駅前の「おりば」から乗継ぎの際に「のりば」まで遠く感じる
- ・車の運転免許を返納したのでバスや電車に乗る生活になった。エレファントの野球観戦に出かけたいが、どうしたらいいだろうか。（路線図と時刻表に手書きで追加コメントをしました）
- ・川東三国線が廃止になったため、旧坂井町へは電話予約が必要になって、不便を感じるが予約してでも利用したい



▲現在は京福バスさんが運営



▲テル編集長が案内中



▲午前9時頃の電停



▲午後1時頃の電停（大勢の人）

【感想】

当日は本当に大勢の人が西口広場を利用されていました。過去にROBAでモビリティセンターを開設していた時と案内の内容は変わりませんが、今回はバス停の全面変更という事で、観光案内よりもバス案内が中心となりました。

その中でも郊外路線でかつ運行本数が少ない場所へのピンポイントの案内に終始しました。

手持ち道具は京福バス時刻表・のりばマップ・頭の中にある情報・田山くん・スマホ。

これだけでは案内しきれず、少なくともPCでのネット環境を使って、交通事業者の情報を駆使しないと案内できないことも分かりました。

他には、やはり地域時刻表の重要性を感じた1日でした。

相互乗り入れ・駅前延伸に思うこと

岸本 雅行

3月27日(日)の相互乗り入れ・駅前延伸開始から間もない4月1日(金)の昼過ぎ、仕事が休みだったので、この区間を乗車してみました。開業日の満員電車にも乗りましたが、平日の閑散時の状況も見なかったため、この時間を選びました。乗車してみて、いくつか気になったことがありましたので報告させていただきます。

まず、自宅のある福井鉄道家久駅から鷺塚針原行の急行(フクラム)に乗車、通勤に利用しているフライデーパス(金曜日のみ利用可能な福井鉄道全線フリーパス)を使用しました。市役所前で大半の客が下車、田原町からえちぜん鉄道に乗り継いで鷺塚針原で下車した客が10名、私も含めその半数以上がカメラを持った鉄道ファンらしき人間でした。田原町～鷺塚針原間の運賃270円を支払い下車、折り返し越前武生行まで40分ほど時間があるので駅周辺を散策してみました。駅周辺は集落が疎らにある程度で、電車の折り返し地点とはとても思えない寂しさでした。パーク・アンド・ライドの駐車場を整備すれば、少くらは乗客も増えるのではないかと思います。駅には相互乗り入れ便の出発時刻は表示してありますが、越前武生など福井鉄道の到着時刻の表示がありません。相互乗り入れによる時間短縮をアピールしているのに、到着時刻が分からないようでは不親切です。福井鉄道の駅も含め、到着時刻の分かる時刻表の掲示を願いたいところです。また、無人駅なので、私のように福井鉄道フリーパスを持って福井鉄道へ乗り継ぐ乗客は、田原町までの帰りの運賃270円をどこで支払ったらよいのか、駅舎内の表示を調べましたがどこにも書いてありません。不安な気持ちで越前武生行の待つホームへ向かいました。

乗客は三国方面からの乗り換え客2名と鷺塚針原から乗車した5名の計7名でした。乗車してすぐ、「市役所前まで福井鉄道フリーパスを使って乗車したいけれど、えちぜん鉄道内の270円はどこで支払えばよいのですか。」と運転士に尋ねました。運転士は、「田原町で駅員に払ってください。」との返事でした。「直通電車なので田原町では降りません。」と私が答えると、運転士は困り顔でしばらく考え込んでしまいました。最後に運転士は、「私に現金で払ってください。」と言うので270円を直接渡しました。私みたいな乗客は想定していなかったのでしょうか。釈然としない気持ちで市役所前で下車しました。

その後、福井鉄道福井駅まで歩いて越前武生行普通電車に乗ることにしました。新設された福井鉄道福井駅はバスターミナルと一体の近代的な装いで、進入するフクラムを見ると、ヨーロッパのどこかの街中かと錯覚をおこすような風景です。しかし、ホームの時刻表で気になることを発見しました。2番線と3番線と2つの乗場(1番線は降車専用)がありますが、JR駅側の2番線には田原町方面の時刻表しか掲示してありません。裏側の3番線側に回ると越前武生方面の時刻表が掲示してありますが、JR駅側からやってきた乗客には2番線の田原町方面の時刻表しか目に留まりません。初めての乗客は、田原町方面の電車しか走っていないのかと間違ってしまう恐れがあります。両方面行の時刻を1枚に掲示した時刻表も2・3番ホームの入り口(北側)にぜひ必要です。さらに驚いたことは、田原町方面の時刻表のある2番ホームからは越前武生行の電車が発車、越前武生方面の時刻表のある3番ホームからは田原町行の電車が発車しているのです。これでは、間違っただけで乗車してしまいそうです。また、田原町行に乗り、市役所前で乗り継いで急行に乗車すれば越前武生方面に早く到着できるのに、乗り継ぎに関して何の案内も書いてありません。このように分かりにくい状況では、せっかく駅前まで延伸した効果が台無しです。

相互乗り入れ・駅前延伸という大事業は華々しく完成しましたが、分かりやすい案内などのサービス面はまだまだといった感じです。両鉄道の事業者は、乗客の意見などを真摯に受け止め、改善できる点はぜひ実行に移してほしいと思います。そして、相互乗り入れ・駅前延伸により乗客がさらに増加して、福井の公共交通が飛躍的に発展することを願ってやみません。

福井鉄道えちぜん鉄道相互乗り入れ開始

去る 2016 年 3 月 27 日、福井鉄道とえちぜん鉄道三国芦原線の相互乗り入れがついに始まりました。2000 年、2001 年の京福電鉄の二度の重大事故と、二度目の事故当日の即日運行停止。そこから福井は鉄軌道をどうするのが良いのかという議論が始まり、そこから 15 年、重い議論、模索を続け、施策を積み上げ、それがこの日、トラムトレインによる LRT 化という新しいモデルとして結実しました。



福井鉄道えちぜん鉄道相互乗り入れ開始式典はこの日、福井駅西口広場開業式典に続いて、結節点となる田原町駅に場所を移して開催されました。ダイヤ乱れもあり、順調な船出とは言えなかったものの、市民が大勢集まり、報道陣も多く、地域の関心の高さがうかがえました。



この日、福井で実現したモデルは実は画期的なものです。本来直通を想定しない異なる事業者の鉄道と路面電車の相互乗り入れは全国初。そしてえちぜん鉄道線内では従来の鉄道の運行と LRT の運行がレールを共有して行われるトラックシェアリング。富山に次ぐ全国 2 例目の LRT で、しかも富山とは異なるモデルのトラムトレイン。それが鉄道の再生の取り組みの中で行われたことは、全国の地方鉄道に希望を与えるに違いありません。

この日デビューしたえちぜん鉄道の新型低床電車は ki-bo (キーボ、希望)。FUKURAM と合わせ、「希望ふくらむ」となる仕掛けです。(清水)



福井駅西口広場開業

去る 2016 年 3 月 27 日、福井駅西口広場の福井鉄道福井駅と福井駅西口バスターミナルが開業しました。福井鉄道の旧電停（写真上右・3 月 26 日撮影）とバス乗り場は JR 福井駅から離れたところに分散



するなど、交通結節機能が欠落していましたが、それが一気に解消し、交通結節点が誕生しました。公共交通を利用しない理由に乗り換えの不便を挙げる声が多かったのですが、今後は公共交通の利用が進むものと思われます。福井駅西口広場開業の前日、JR 福井駅コンコースには新たに福井駅西口の福井鉄道の結節を案内する表示が掲げられました。

福井駅西口広場開業式典は 3 月 27 日にハピリンにて開催され、挨拶の中で西川一誠知事は「福井に春が来た」という表現を使いました。京福電鉄の運行停止から 15 年を経て、福井の公共交通は画期的に生まれ変わりました。福井駅西口再開発ハピリン登場、相互乗り入れ、ki-bo 登場、FUKURAM 第 3 編成登場と合わせ、街の風景が一変しました。

(清水)



京福バス「休日フリーきっぷの旅」20160403



六才橋
10:27

いつもは反対側のバス停を通勤に利用しているがなんともいわくあげなバス停名ですね！(家から自転車で3分)



「一筆啓上 火の用心
お仙泣かすな 馬肥やせ」
日本一短い手紙で有名になった丸岡町。バスで来たのは初体験！



11:45

丸岡線

丸岡線
380円
丸岡城
10:50



12:08
アピタ・エルパ前
360円



アピタ・エルパへ入るには国道を右折しなければならないので渋滞でなかなか曲げれない



九頭竜川を渡ります



12:25
大和田エコライン



NHK前の桜並木はとて美そい！

12:49
福井駅前
360円

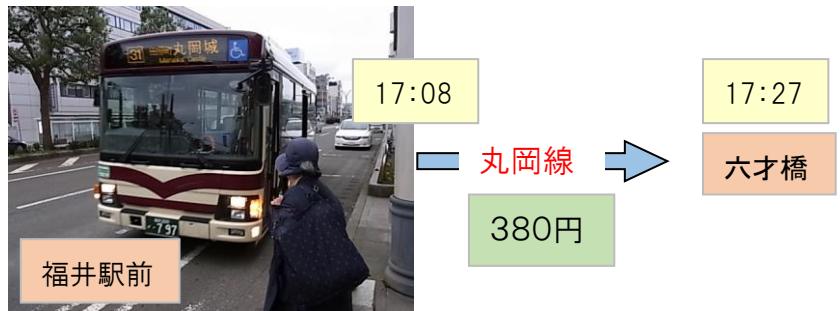


9ページに続く



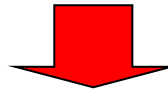
作/漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 Part 44

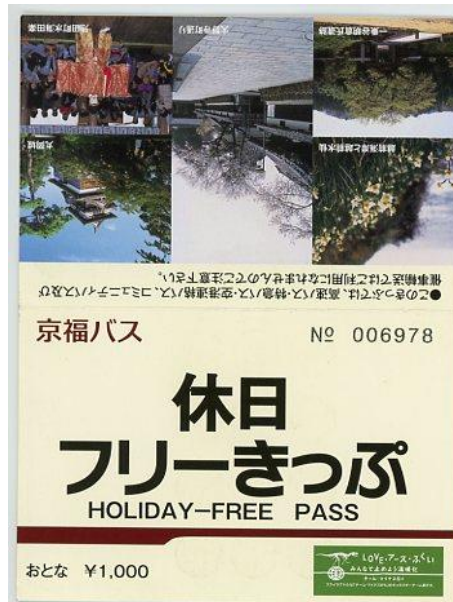


【バス運賃】

380円+360円+360円+380円=1,480円



休日フリーきっぷ（おとな¥1,000）を使用しました



びっくりするほどお得感はありませんでしたが、次回は長距離で再チャレンジしてみたいと思います。

いっしょにチャレンジしてみませんか！

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「3月28日待望の福井駅西口バスターミナルと相互乗り入れがスタートしました。残念ながら私自身ゆったり乗車体験はできていませんが、早いうちにちょい旅をしたいと思っています。」

林(変集長)

「3月20日に左小指のじん帯損傷の怪我。年齢のせいかなかなか完治しない。炊事・入浴とても不便。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>